

目 次

I. 総括研究年度終了報告	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化 -----	3
東北大学病院・皮膚科・教授 相場 節也	
II. 分担研究年度終了報告	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性データの集積、国際標準化へ向けてのvalidation試験の 計画、国際会議の企画、進行 -----	858
国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター・ 安全性予測評価部・室長 小島 肇	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 Multi-ImmunoToxicity assay の国際 validation へ 向けての検討 -----	911
産業技術総合研究所・健康工学研究部門・ 研究グループ長 中島 芳浩	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 Multi-ImmunoToxicity assay の国際 validation へ 向けての検討 -----	926
産業技術総合研究所・バイオメディカル研究部門・ 主任研究員 安野 理恵	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 Multi-ImmunoToxicity assay の予測性の検討 -	936
神戸大学医学部附属病院・臨床研究推進センター・ 特命教授 大森 崇	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： IL-2 Luc leukocyte toxicity test (IL-2 Luc LTT) クライテリアの 設定ならびにプロトコルの作成 -----	941
東北大学病院・皮膚科・助教 木村 裕	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	947
IV. 倫理審査等報告書の写し -----	950